

令和7年度		日野市立 平山小学校		経営重点計画		自己評価シート		令和7年6月公表			
★学校の教育目標							人権尊重の精神を基調に、心身共に健康で、たくましく生きる人間性豊かな児童を育成する。			★重点計画の概要	
★目指す学校像（ビジョン）							「平山小からだ健やかプロジェクト」 1設定理由 ○児童の体力低下傾向や運動する子としない子の二極化傾向を踏まえ、児童が運動や遊びをとおして体を動かす楽しさを実感したり、食や保健の内容を中心とした健康な生活を実践したりすることとおして、健やかでたくましい子供を育成するために本プロジェクトを重点取組として設定する。 2内容 ①東京都教育委員会体育健康教育推進校、日野市教育委員会研究奨励校として、研究主題「たくましい子供の育成 ～体育・食育・健康保健を通して」を設定し、様々な具体策を講じ、2月に研究発表会を開催する。 ②児童が主体的に取り組む体育科授業、食に関する授業、健康保健に関する授業実践を推進する。 ③児童が体を動かす楽しさや大切さを実感するとともに、体力向上を実現するために様々な体育的活動を設定し、友達とともに運動する機会を創出する。 ③児童がアスリートとふれあい運動の楽しさを実感するとともに、保護者・地域と連携しながら健康な生活を実践する取組を推進する。				
【目指す児童像】							○すすんで学ぶ力（自ら問いをもち、仲間とともに学ぶひらやまっ子）【問題解決力】 ○ゆたかな心（“いのち”と真心を大切にし、すすんで人の役に立つひらやまっ子）【人間関係形成力】 ○たくましい体（よく運動し前向きに挑戦するとともに、健康な生活を実践するひらやまっ子）【実践力】 平山小学校に関わる人々が、楽しく前向きに生きる力を育むとともに、一人一人を大切にできる魅力ある楽しい学校 （１）児童が、できる楽しさ・分かる楽しさ・認められる楽しさを味わうとともに、自分と他者の多様な個性を認め合い尊重する （２）保護者・地域住民の方々が学校を信頼・応援し、児童を安心して通学させ、自らも行動参画する （３）教職員が、個性を生かし、専門性を伸ばし、チームとして協働する組織の中で挑戦し成長を実感するとともに、子供のよさを見つけ、褒め、活かす 個性を生かし、専門性を伸ばし、チームとして協働する組織の中で挑戦し成長を実感するとともに、子供のよさを見つけ、褒め、活かす				
領域		中期経営目標		短期経営目標		具体的方策		評価指標・評価基準			
								取組指標		成果指標	
みんなが当事者として、自ら歩む道をつくる	人の役に立ち、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育成する。	学級活動を工夫し、自分の成長を実感し、支え合い、高め合う仲間集団をつくらうとする態度を育成する。	・「学級活動ハンドブック」を活用し、意図的・計画的な学級活動の授業を実践する。 ・児童がよりよい学校・学級生活実現のために生活目標を話し合い、全校朝会で発表する児童主体の「週リーダー活動」を実施する。	4	学級活動ハンドブックの内容をいかした学級活動授業を毎学期行った学級担任が100%	4	アンケートで「学級会等でよりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と肯定的に答えた児童が90%以上				
				3	学級活動ハンドブックの内容をいかした学級活動授業を毎学期行った学級担任が85%以上	3	アンケートで「学級会等でよりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と肯定的に答えた児童が80%以上				
				2	学級活動ハンドブックの内容をいかした学級活動授業を毎学期行った学級担任が70%以上	2	アンケートで「学級会等でよりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と肯定的に答えた児童が70%以上				
				1	学級活動ハンドブックの内容をいかした学級活動授業を毎学期行った学級担任が70%未満	1	アンケートで「学級会等でよりよい学級・学校にするために話し合うことができた」と肯定的に答えた児童が70%未満				
	共生社会の一員として自分と他者の多様な個性を尊重し、一人一人を大切にすることを育成する。	一人一人の個性や特性、強みや弱みを互いに受け入れ成長できるようにする。	・児童の自己肯定感を高めるために、児童同士のよいところ見つけの活動や、教職員が児童のよさを見つけ、褒め、活かす指導を実践する。 ・他者を大切にすることを意識するために、人権標語作成の活動等を実践する。 ・学校いじめ防止基本方針に基づき、毎学期初めにいじめ防止に関わる学級指導を実施するとともに、毎学期いじめ問題の早期発見のための「生活・ふれあいアンケート」や児童面談、年2回保護者面談を実施し相談できる環境を保障するとともに、毎月いじめ対策委員会を開催し、いじめ見逃しゼロを目指す。	4	児童のよさを見つけ、褒める指導を常に意識し実践できた教員が100%	4	アンケートで「自分や友達を大切にすることができた」と肯定的に答えた児童が90%以上				
				3	児童のよさを見つけ、褒める指導を常に意識し実践できた教員が85%以上	3	アンケートで「自分や友達を大切にすることができた」と肯定的に答えた児童が80%以上				
				2	児童のよさを見つけ、褒める指導を常に意識し実践できた教員が70%以上	2	アンケートで「自分や友達を大切にすることができた」と肯定的に答えた児童が70%以上				
				1	児童のよさを見つけ、褒める指導を常に意識し実践できた教員が70%未満	1	アンケートで「自分や友達を大切にすることができた」と肯定的に答えた児童が70%未満				
みんなの多様な学びとしあわせをつくる	自ら問いをもち仲間とともに追究し、できる楽しさ、分かる楽しさ、認められる楽しさを味わえるような学びを推進する。	児童一人一人の理解のしかたやペースに合った多様な学びと学び方を実現するために、個別最適な学び及び対話・協働的な学びを実践する。	・各教員が「一人一人を大切にした学び合い」を実現する授業を実践する。 ・各教員が学習者用及び教師用端末を学びの中で活用する授業を実践する。	4	単元を通して又は1時間の授業の中で「一人一人を大切にした学び合い」の授業を毎学期行った教員が100%	4	アンケートで「できた」「分かった」と肯定的に答えた児童が90%以上				
				3	単元を通して又は1時間の授業の中で「一人一人を大切にした学び合い」の授業を毎学期行った教員が85%以上	3	アンケートで「できた」「分かった」と肯定的に答えた児童が80%以上				
				2	単元を通して又は1時間の授業の中で「一人一人を大切にした学び合い」の授業を毎学期行った教員が70%以上	2	アンケートで「できた」「分かった」と肯定的に答えた児童が70%以上				
				1	単元を通して又は1時間の授業の中で「一人一人を大切にした学び合い」の授業を毎学期行った教員が70%未満	1	アンケートで「できた」「分かった」と肯定的に答えた児童が70%未満				
	たくましい子供を育成するために、体を動かす楽しさを実感するとともに、健康な生活を実践する態度を育成する。	たくましい子供を育成するために、体育科及び食や健康保健に関する授業研究を推進するとともに、多様な運動や遊び等体を動かす機会を増やし運動の日常化を図る。	・体育科授業で運動量及び運動の質を確保した授業や、休み時間における学級外遊びを実践し、運動の日常化を図る。 ・全校における体育的活動「平山アクティブスポーツ」を推進するとともに、地域とも連携した様々な体育的活動を推進する。	4	運動の日常化を図る取組(学級外遊び)や運動量・質を意識した体育科授業を毎月行った学級担任が100%	4	アンケートで「体育の授業や休み時間などに体を動かすことは楽しい」と肯定的に答えた児童が90%以上				
				3	運動の日常化を図る取組(学級外遊び)や運動量・質を意識した体育科授業を毎月行った学級担任が85%以上	3	アンケートで「体育の授業や休み時間などに体を動かすことは楽しい」と肯定的に答えた児童が80%以上				
				2	運動の日常化を図る取組(学級外遊び)や運動量・質を意識した体育科授業を毎月行った学級担任が70%以上	2	アンケートで「体育の授業や休み時間などに体を動かすことは楽しい」と肯定的に答えた児童が70%以上				
				1	運動の日常化を図る取組(学級外遊び)や運動量・質を意識した体育科授業を毎月行った学級担任が70%未満	1	アンケートで「体育の授業や休み時間などに体を動かすことは楽しい」と肯定的に答えた児童が70%未満				
社会と未来に関き、みんなできてる	自分が生活する地域に愛着をもち、よりよい地域社会をつくらうとする態度を育成する。	農業・栽培体験を含む食育、防災教育の充実を通して、地域と共に“いのち”を学ぶ学習活動を推進するとともに、日野市に対する郷土愛や地元生産者への感謝の心を育む。	・給食献立や給食指導を通して、地場産野菜を紹介し、そのよさを伝え、地元生産者に対する感謝の心を育む。 ・地元農業関係者や栄養士等の専門家を活用し、地場産物や食に関する知識、バランスのよい食生活を学んだり、生産・栽培・収穫活動を体験したりする指導を行う。	4	給食献立や給食指導を通して地場産野菜を紹介し、そのよさを伝える学級担任が100%	4	アンケートで「日野市で作られた食材が給食で食べられることはうれしい」と肯定的に答えた児童が90%以上				
				3	給食献立や給食指導を通して地場産野菜を紹介し、そのよさを伝える学級担任が85%以上	3	アンケートで「日野市で作られた食材が給食で食べられることはうれしい」と肯定的に答えた児童が80%以上				
				2	給食献立や給食指導を通して地場産野菜を紹介し、そのよさを伝える学級担任が70%以上	2	アンケートで「日野市で作られた食材が給食で食べられることはうれしい」と肯定的に答えた児童が70%以上				
				1	給食献立や給食指導を通して地場産野菜を紹介し、そのよさを伝える学級担任が70%未満	1	アンケートで「日野市で作られた食材が給食で食べられることはうれしい」と肯定的に答えた児童が70%未満				
	外部人材と関わる活動をおして、地域や共生社会、将来に対する考えを深める。	様々な外部人材とふれあうことで自分の今後の在り方を考えたり、幼保小中連携教育を推進し、地域の園児や中学生と多様な関わりをしたりすることで、責任をもって行動する姿勢を育成する。	・地域、関係機関やアスリート等を授業で招聘したり地域の方と関わったりする等、多様な人材が参画するような教育活動を展開する。 ・第二幼稚園をはじめとする就学前施設や中学校と連携した取組を推進する。	4	地域を含む外部人材や幼保中を含む外部機関と連携した教育活動を実践し、活動の意義や成果を児童と共有した学級担任が100%	4	アンケートで「授業で地域や外部の方から学んだり、園児や中学生と関わったりする活動は自分の成長につながる」と肯定的に答えた児童が90%以上				
				3	地域を含む外部人材や幼保中を含む外部機関と連携した教育活動を実践し、活動の意義や成果を児童と共有した学級担任が85%以上	3	アンケートで「授業で地域や外部の方から学んだり、園児や中学生と関わったりする活動は自分の成長につながる」と肯定的に答えた児童が80%以上				
				2	地域を含む外部人材や幼保中を含む外部機関と連携した教育活動を実践し、活動の意義や成果を児童と共有した学級担任が70%以上	2	アンケートで「授業で地域や外部の方から学んだり、園児や中学生と関わったりする活動は自分の成長につながる」と肯定的に答えた児童が70%以上				
				1	地域を含む外部人材や幼保中を含む外部機関と連携した教育活動を実践し、活動の意義や成果を児童と共有した学級担任が70%未満	1	アンケートで「授業で地域や外部の方から学んだり、園児や中学生と関わったりする活動は自分の成長につながる」と肯定的に答えた児童が70%未満				
※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。											